



DMI 国際ろう者支援会 日本

2014年秋号 / 2015年冬号



DMI 支援者のみなさまへ

しばらくするとクリスマスがやってきます。それは一年の特別な時です。静まって世の救い主イエス・キリストの降誕に思いを馳せる時です。キリストは全人類のため、すなわち、ろう者のためにも、健聴者のためにも来てくださいました。私たちは、すべての人にそれを知って欲しいと願います。それが DMI の存在理由です。ですから、世界 26 か国で学校や教会を通して神の愛を伝えています。

10 月には韓国のソウルで第六回の国際大会が開催されました。韓国のろう者の兄弟姉妹が担当してくださいましたが、すばらしく準備された大会でした。講師の大半はろう者で、手話で御言葉を取り次ぎました。そのメッセージは音声英語に読取通訳され、そこから 5~6 ヶ国の手話に通訳されました。それは、見ていて「すごい！」と思わされる光景でした。

音声で会話をする人たちにとって、他言語を話す人とのコミュニケーションは大変です。しかし、ろう者は、各国の手話は違っていても、何とか相互理解が図れます。

みんな、話したり、分かちあったりするのが大好きです。彼らはいつもは少数派ですが、ここでは手話会話が普通なので、健聴者の方が、自らは（障がい者）障害者だと感じました。

35 年前に韓国で DMI を創立したネヴィル・ミューア師とリル夫人に感謝を表す記念品が贈られました。大会すべてが大きな祝福でした。日本からの参加者は 10 名でした。ここに何人かの方から寄せられた感想を掲載します。また、日本からジャック・マーシャル牧師と湊崎真砂牧師が講師として参加してくださいました。

シリア

シリアから来た二人のリーダーに、ソウルの国際大会で会うことができ本当に感激しました。彼らの報告の一部は以下のとおりです。

シリアの兄弟姉妹を代表してご挨拶します。私たちの国は今も内戦の中にあつて、毎日、様々なニュースを聞きますが、そんな中でも、私たちは主の御業の証し人となるこ

とができています。良い知らせは、私たちは今も、ろう者伝道を続けていることです。ろう者は、もっともっと神のことを知りたいと心を躍らせています。20 人のろう者が月曜日の集いにも日曜日の集いにも参加しました。

戦争による困難は、私たちに問題や課題を突き付けます。砲撃や爆発の恐怖、経済の低迷、清潔な水や電力の不足から来る疫病の蔓延は、シリアに住む人たちすべてが直面している問題です。しかし、私たちは教会として、主がいつも共におられることを体験しつつ、ビジョンを目指して喜びをもって前進し続けるように励まされてきました。

多くの参加者は、シリアの現状を聞いて涙を流しました。私たちは彼らの安全や経済的必要のために祈らなくてはなりません。また、彼らは、ともに励まし合い、イエスを知らないろう者に手を差し伸べているので、その働きに主の力と知恵が与えられるように祈る必要もあります。

DMI 日本委員・談議 伸子

私は今回初めて DMI 国際大会に参加しました。世界中の兄弟姉妹が 1 つの場所に集まり共に主に賛美し祈ることができた事に感謝です！講師のボブ先生のメッセージは心に響く素晴らしいものでした。ボブ先生のメッセージは手話でしたが、その手話は各国の手話に通訳され、また健常者には英語から日本語等各国の言語に通訳されたので、参加した全員がメッセージを聴く事が出来ました。大会には 23 ヶ国から約 150 人の人が参加し、とても素晴らしい交わりの時を持つことができました。間にはゲームやマジック等のプログラムもあり、とても楽しい時間を持つことができました。手話ができなくても翻訳して下さる方がいたので、楽しくお話しする事ができました。最後に各国の働きについての報告を聞き、私はこれからも DMI の働きの為に祈り、支援していこうと思いました。3 年後の国際大会も参加したいと思えます！

DMI スポンサー・林 久美子

ソウルで開催された、DMI の 35 周年の記念大会がソウルで開催され、私は手話が何も出来ません。でもリルと一緒に働いていたし、ケニアの Judith Akoth さんをサポートしているので行くことを決めました。

大会では手話の嵐でしたが、各国の手話や言葉を見たり聞いたりしている間に、何となくわかる部分もあり、馴染んで行きました。

日本の活動報告の時に、若い日本人 2 人と韓国のろう者の女の子と一緒に手話の歌を歌いました。表情が大事と教えられたので、目いっぱい笑って歌いました。大

会参加者の皆さんに喜んでもらえて嬉しかったです。

1 日のプログラムが終わると、ロビーで多くの若者と色々な言葉で話し合ったり、歴史について激論を交わすくらい、英語が話せたので、自分でもびっくりでした。今回参加してみて、言葉では無く、相手に伝えたい想いがあるならば、国・言葉の壁を越えて、分かち合えるのだと確信させられました。三年後のノルウェーの大会で皆さんと是非お会いしたいです。がんばって、手話を少し上達させ、英語ももっと話せるように頑張りたいです。

皆さんもノルウェーで会いましょう！



日本からの参加者の数人
A few of the attendees from Japan

Deaf Ministries International

DMI 日本部

Web: <http://japan.deafmin.org>
Email: info@japan.deafmin.org
Tel/Fax: (代表: マドレ) 075-871-8562
(スポンサーシップ・談議) 075-723-7089
(会計: マーシャル) 090-6664-8655

郵便 (大阪国際インターナショナルチャーチ):
〒540-0004 中央区玉造 2-26-47-407

DMI 国際本部 (オーストラリア)

Web: <http://deafmin.org>
Email: muir@deafmin.org
P.O. Box 395 Beaconsfield Vic. 3807 Australia
Tel: +61-3-5940-5430
Fax: +61-3-5940-5432



ネヴィル先生、シリアのリーダーたち、アレインさん、コンゴの代表
Workers from Syria and Congo with Neville and Alayne

コンゴ

コンゴからの参加者はひとりでしたが、DMIのコンゴの働きについて報告し、私たちに刺激を与え、元気づけてくれました。コンゴでも内戦が勃発しています。どうか、この地のために、また、ここで働くDMIの牧師やスタッフたちのために祈ってください。



DMIの働きのために祈り、ご支援くださり、ありがとうございます。どうかよいクリスマスをお過ごしください。イエスの降誕を喜びに満ちて祝うことができますように。

感謝して

日本 DMI 理事長

Alayne Madory

アレイン・マドレ

追伸： 国際大会の参加者の証をニュースレターに含みたいと考えましたので、秋号のニュースレターの発行を遅らせて、冬号と合体させることにしました。

日本手話訳聖書が
手の中に！

「日本手話訳聖書」というスマートフォンやタブレット対象のアプリは最近無料で発行されました。手話聖書の動画を再生できることの上、いくつか便利な機能もあります。個人バイブルスターディーや説教準備のために手話で「動画ノート」も取れます。iTunesのApp StoreやGoogle Playで「日本手話訳聖書」を検索してください。



佐世保ローア・バプテスト教会の牧師・湊崎 真砂

私たち夫婦は第6回 DMI 国際大会が韓国のソウルで開催されると伺った時は是非参加したいと思いました。

DMI日本本部のアレイン・マドレ先生やDMI国際大会の実行委員長・韓国の金容換牧師からメールがあり、説教を依頼された時、こんな不器用な私でいいのだろうかと思っていました。主の助けを仰いで大会の韓国に参りました。23ヶ国から多くのろう者や健聴者が参加され、250名位だったと思います。大会では韓国ろうあ協会会長の挨拶、韓国民族衣装踊り、マジック、映画監督の証し、太鼓、そして23ヶ国の代表者たちの宣教活動報告などがありました。イスラム教国などでは伝道が禁じられているのに、ろう者教会が出来たのは奇跡だ！主のあわれみと恵みによってのみ。神のみわざはすごいなあと思いました。

メイン講師のボブ・マクファランド牧師（イギリス人ろう者）と兵庫県尼崎市で活動中のアメリカ人宣教師ジャック・マーシャル先生と私がメッセージさせて頂きました。ボブ牧師はイギリス手話を使っておられましたが、パフォーマンスは身振を通して分かり易いメッセージでした。通訳がなくても良い程分かりました。マーシャル先生は85歳位（？）とは思えないほどの熱のこもったメッセージをして頂き、恵まれ励まされました。私は下手な韓国手話で拙いメッセージをしました。金容換牧師は私の

ために韓国手話を補ってくれました。私は韓国手話が分からない時には、英語の指文字を使い、金牧師から韓国手話を教わりながらメッセージをすることが出来て主と金牧師に感謝します。

オーストラリア、東南アジア、ヨーロッパ、アフリカのエジプト、ケニア、タンザニア、ウガンダ、コンゴ、ナイジェリア、南アフリカ、チャド、ザンビア、シリアなどからもろう者牧師や健聴者のリーダーたちが来られ、証をされ、それぞれの国の手話賛美を披露。

ウガンダのリーダーらしいコーダたちは、JDBFの皆さまがこれまでいつもウガンダろう聖書学校のためのお祈りと献金を送って下さり本当に有難うございましたとお礼を言われました。東アフリカ宣教拡大のために働こう者牧師と伝道者が起こされたことを感謝し、主の御名を崇めます。

次回は2017年6月に北ヨーロッパのノルウェーと決まりました。私たち夫婦は主にゆるされるならばノルウェーにも行きたいと思っております。皆さまと一緒に行きましょう。



DMI JAPAN Autumn 2014 / Winter 2015

- English -

Dear Friends and Supporters,

We are approaching that special time of the year when we celebrate Christmas. It is the time when we stop to think of the birth of the Lord Jesus Christ, the Saviour of the world. He came for all mankind, hearing as well as those who cannot hear, and we want everyone to know. This is the reason for the existence of DMI – to share the love of God through our ministry in schools and churches in about 26 countries around the world.

In October the 6th DMI International Conference was held in Seoul, Korea. It was organized by our Deaf brothers and sisters there, and what a marvelous job they did. Most of the 'speakers' were Deaf and spoke through sign language. This was interpreted into spoken English which was then translated into about 5 or 6 other sign languages!! Amazing to watch.

Speaking people find it hard to communicate in different languages, but in spite of sign languages being different the Deaf can all communicate somehow. They love to talk and share together. Instead of being in a minority situation, signing is the norm, and we hearing participants felt like we were handicapped!!! Tribute was paid to Neville and Lill Muir, who started the work of DMI in Korea 35 years ago. The whole conference was such a blessing. There were 10 participants from Japan and I am including impressions of the Conference from two of them. Also, two of the speakers were from Japan – Rev. Jack Marshall and Rev. Masago Minatozaki.

Syria

It was a privilege to meet the two leaders of the work in Syria at the conference in Seoul. This is part of their report.

Syrian greetings to you all. We are still going through a civil war in Syria, we hear the difficult news every day but can be witnesses for the Lord's work with us. The good news is that we are continuing in the Deaf meetings, and the Deaf are very excited to know more about our God. Twenty Deaf were at Monday's meeting and they were at Sunday's meeting too.

The difficulties of war are a problem and challenge for us. The fear from shells and explosions, the weak economy and the spread

of disease due to lack of water and electricity are all challenges while living here in Syria. Despite that, we as a church have been encouraged to continue our vision with joy as we see that the Lord is with us all the time.

Their report brought tears to the eyes of many as they heard what was happening there. They need our prayers for safety, financial provision, and strength and wisdom as they seek to encourage Deaf Christians and reach out to other Deaf people.

Congo

There was just one man from Congo, and he gave an inspiring account of the work there. We hear that fighting has broken out in Congo, so please pray for the work and the workers there.

Thank you so much for the way you join with us, praying and supporting this work, and we wish you a blessed Christmas, full of joy as you celebrate the birth of Jesus.

Warmest greetings,
Alayne Madore

PS. Because we wanted to include testimonies from the conference, we are late writing the Autumn newsletter, so we decided to combine it with the Winter issue this year.

You can now see the Bible in JSL on your smartphone or tablet!

A free mobile app has recently been released in iTunes' App Store and Google Play - search for "ViBi". It plays the videos of the Japanese Sign Language Bible, and also includes additional helpful features, most notably "video note-taking", useful for personal note taking or for preparation by Deaf pastors and Bible study leaders.

Masago Minatozaki (pastor of Sasebo Deaf Baptist Church)

When my wife and I heard that the 6th DMI International Conference would be held in Seoul, South Korea, we wanted to be sure to attend.

Then I received an email from Alayne Madore of the DMI Japan Board and Korean pastor Yong-Hwan Kim, chairman of the conference executive committee, asking me to give a message. At first I was unsure that I was up to the task, but I looked to the Lord for help. I think there were about 250 people, both Deaf and hearing, from 23 nations. There was a greeting from the Korean leadership, Korean traditional costumes, dancing, magic, a movie director's testimony, drums, and reports of the mission activities by representatives of 23 countries. Where evangelism is outlawed, like Islam countries, Deaf churches being established is a miracle! It's only by the Lord's grace and mercy – God's works are amazing!

Messages were given by the main speaker, Deaf British pastor Bob McFarland, by Jack Marshall, an American missionary working in Amagasaki in Hyogo Prefecture, and by myself. Bob McFarland used British sign, but his gestures were easy to understand even without interpretation. I was blessed and encouraged by the energetic message given by Jack Marshall, who doesn't seem his age of 85. I did my best to give a message in Korean sign, while Pastor Kim assisted. When I didn't know the Korean sign and resorted to English finger spelling, he filled in the vocabulary. I'm thankful to the Lord and Pastor Kim.

Deaf pastors and hearing leaders came from Australia, SE Asia, Europe, Egypt, Kenya, Tanzania, Uganda, Congo, Nigeria, South Africa, Chad, Zambia, Syria, and more – they gave testimonies and shared sign-based praise songs from their countries.

CODAs who are apparently leaders in Uganda gave public appreciation on behalf of JDBF for prayers and offerings that have been given for the Uganda Bible School. Praise the Lord for the spread of the gospel in East Africa and raising up of Deaf pastors and evangelists.

The next conference will be in Norway in June 2017. If the Lord allows, my wife and I hope to go there, too. Let's all go together.

Nobuko Dangi (DMI Japan board member)

This was my first time to attend a DMI International Conference. To see brothers and sisters from all over the world gathered in one place to praise the Lord and pray together was cause for thanksgiving. Main speaker Pastor Bob gave very heart challenging, wonderful messages. Pastor Bob's messages were in sign language, but there were interpreters into other sign languages, and the message was translated into English and then other spoken languages for the hearing people there. In this way everybody could hear the message. Participants came from 23 different countries and over 150 people attended. It was an amazing time of fellowship. In between times we had fun programs like games and magic. Even those who couldn't do sign language could enjoy fellowship with the help of interpreters. Then each country gave reports on the work they were doing, and I felt even more strongly that I should pray for and support the work of DMI. In three years I hope I can go to the next conference.

Kumiko Hayashi (DMI sponsor)

I was privileged to be able to attend the DMI 35th anniversary Conference. I can't do sign language, but I used to work with Lill Muir, and I support Judith Akoth in Kenya, so I decided to go.

At the conference it seemed that everyone was talking in sign language and every country had their own language, plus sign language, but I was surprised at how somehow we could communicate.

During the report from DMI Japan, together with two young Japanese girls and a Deaf Korean girl, we signed a song for everyone. I had been told that facial expression is important, so with wide eyes and smiling faces we did our song. All the conference participants thought it was wonderful and joined in with us. We were so happy to be able to do this.

After the program had finished one day, the lobby was full of young people using all different kinds of languages, discussing history etc., and I found I could talk a little to some English speaking people, which surprised me. From attending the conference this time I found that even if you don't have the same language, you can communicate your feelings to others, and overcome language and country differences. The next conference will be in Norway in 3 years, and I am looking forward to meeting everyone there. I want to work hard and try and learn some sign language, and also improve my English.

Everyone, let's meet again in Norway.